

HKSがワークス体制でビルドアップしたドラッグマシンHKSスーパZERO DRAGは、これまで9秒台で足踏みしていたドラッグ界に喝を入れてくれたぜ//国内におけるドラッグレースのメインステージは富士スピードウェイで開催されているRRCドラッグレースだ。そのAAA/PクラスでHKSスーパZERO DRAGはデビューの第2戦でコンスタントに9秒台をマークし、続く第3戦では予選で8秒台に突入して決勝ではアッと驚き8秒65のニューレコードを計測した。

外観こそスーパのモデファイバージョンのように見えるが、コイツはパイプフレームにFRPボディを被せたモンスターマシンだ。

搭載される7M-GTは、鍛造ピストン、H断面コンロッド、272°/272°カムシャフトなどで当然チューニングされる。吸気系はスポーツインジェクションにカーボン

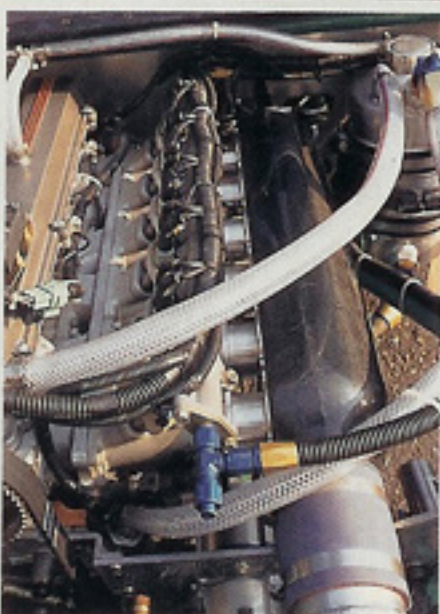
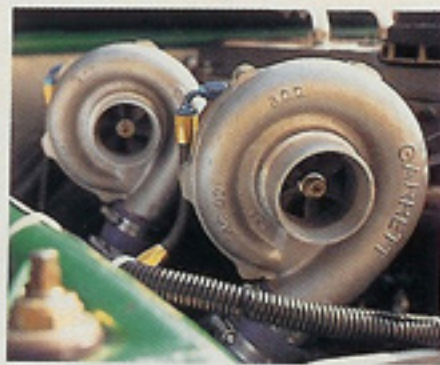
▼7M-GTフルチューンドドラッグ仕様はオーバー800psを発揮。ここで得られたノウハウは当然HKSの各パーツへフィードバックされている

ファイバーのサージタンクがドッキングされ、燃料をコントロールしているのはDジェットのレーシングF-CON、つまりフルコンピュータだ。タービンはTO4E HF (A/R0.63 57トリム) がツインで装着され、1.4kg/cmの過給圧でこのパワーユニットはオーバー800psを絞り出すのだ。

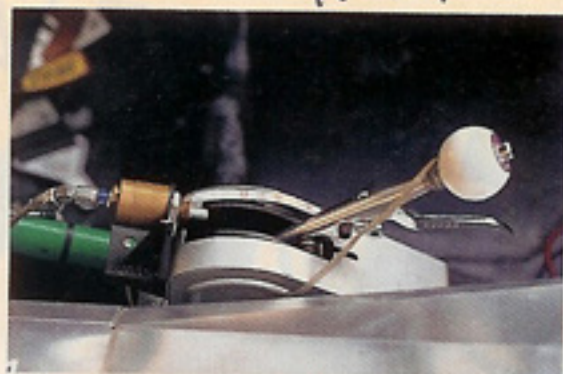
HKSスーパZERO DRAGはこれでパワー全開というわけじゃない。コイツには7秒台をも可能とするポテンシャルが潜んでいるのだ。

今年のRRCドラッグレースではきっと驚くべきタイムが計測されるはず。

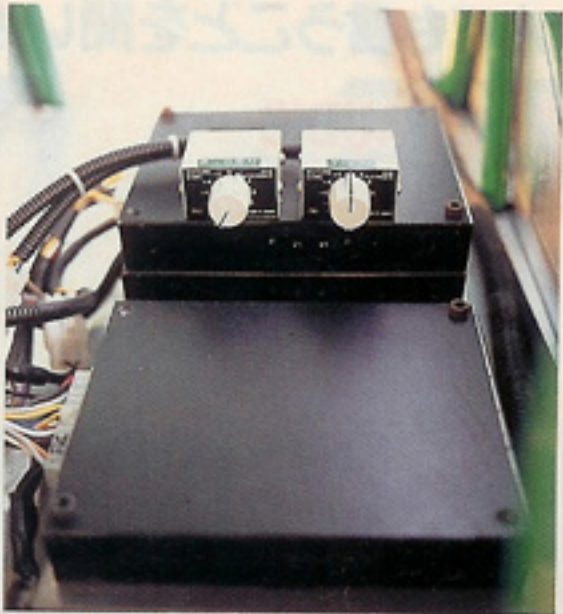
▶ツインで装着されるTO4E HFはダイレクト吸気で効率よくレイアウトされる



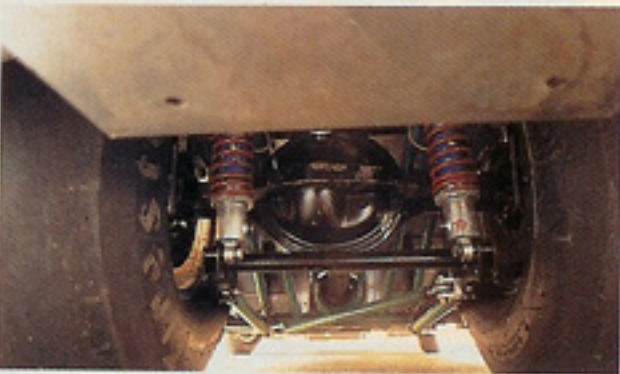
▲吸気系はスポーツインジェクション+カーボンファイバーのサージタンクだ



▲ミッションはギア比2.18、1.68のATi製2速AT



▲燃料系をコントロールしているのはレーシングF-CON。2つのボリュームで燃料系と点火系をセッティングしている



▲Rサスペンションはドラッグマシンではおなじみ4リンクのリジットタイプだ

クルマを買えば、誰だってノーマルのままじゃガマンできない。自分の好みに応じたドレスアップがしたくなってくるよね。パワーユニット、タイヤ&ホイール、オーディオ、シートとドレスアップしたい所はいっぱいある。

このフェアレディ300ZX ツインターボはそんな望みをおなじみの一流パーツですべて満たした超ゴージャスなスーパーマシンなんだ。ドレスアップ総額もオーナー自身ははっきりと覚えていないくらい。でも100万円は軽〜くオーバーしているとのことだ。

パワーユニットはT3Gタービンに交換し、東名D-box、トライアルオリジナルコンピュータ、レビック、70φマフラーな

どでターボパワーをアシスト。ATだってもちろんHKSの強化タイプだ。1.2kg/cmの過給圧でMAXパワーはオーバー500ps。フットワークもトライアルオリジナルサスペンションキット&ブレーキパッドにパナスポーツG7+グッドイヤーイーグルZR (F235/45ZR17、R265/40ZR17) でハイパワーに対処している。

そしてインテリアに目をやればレカロ牛皮CSEがドーンとセットされている。オーディオ系もTD-1200II+CD701にアンプ×4、スピーカー×10で快適なコクピットを演出しているのだ。

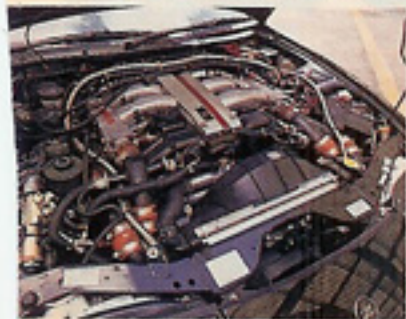
総額ではベンツやフェラーリにも負けないフェアレディ300ZXツインターボ。こんなクルマに一度は乗ってみたいよね。



▲レカロ牛皮CSEがインテリアのゴージャス度をグーンとアップさせている



▲ラゲッジスペースのスピーカー類はZ32のオーディオチューンではおなじみ。サブウーハーはナカミチの限定バージョンだ



▲MAXパワーはオーバー500ps。近日中にオプション誌の0→300km/hにチャレンジする予定



▲フットワークも17インチのパナスポーツG7+グッドイヤーイーグルZRでパッチリ



▲オーディオ系のヘッドユニットはもちろんナカミチTD-1200IIとCD701。TVは日立フォーミュラ